

2025年度  
東京都私立幼稚園教育研修会  
葛飾区公開保育を通じた学び合い等支援事業

# 熊野幼稚園 ECEQ 公開保育



日時 2025年11月21日(金)  
場所 学校法人熊野学園 熊野幼稚園



## 園の基本情報

園名 学校法人熊野学園 熊野幼稚園

所在地 東京都葛飾区立石8-44-31

Tel 03-3691-1862

開園時間 午前8時～午後6時15分

休園日 土日祝・創立記念日(9/16)・年末年始(12/29～1/4)・お盆(8月中旬)

## 園のめざす子ども像

自然が大好きな 自分から学びを広げられる子

## 保育の基本方針

幼児の自発的な活動がうみだされ、心身の成長を促す教育的環境を整える

幼児が自ら考える力や物事への興味・取り組む姿勢を大切にする

子どもたち相互の触れ合いを通して自主性と協調性を育み、幼児の伸びる力を育てる  
日本の伝統行事を、精神的な情操教育の一環として保育の中にたくさん取り入れる

## 特色ある園の教育

### 馬介在教育

馬は、人の表情や動き、触れ方などの“ことば以外のサイン”をよく感じ取る、とても感受性の高い動物です。おだやかで協調性が高いことから、子どもの心の成長を支える活動(馬介在教育:EAI)に適しているといわれています。

熊野幼稚園では、子どもたちがポニーにえさをあげたり、ブラッシングをしたり、厩舎のお掃除をしたり、実際に乗って関わるなど、日常的にさまざまな体験をしています。こうした経験を重ねる中で、安心感が生まれ、気持ちが落ち着く様子が見られ、「自分にもできた」という自信が育つなど、情緒面・社会面での良い変化が確認されています。

私たちは、馬との関わりが子どもの心身の発達にどのように役立っているのかを、日々の観察や記録を通して丁寧に確かめながら、子どもたち一人ひとりが豊かな情緒と主体性を伸ばしていける教育づくりを進めています。





### 忍者修行

約15年前、「落ち着いて座ってられない子どもが増えた」「目の輝きが弱くなっている」と感じたことが、この取り組みの原点でした。

子どもたちに 体を動かす楽しさを実感してほしい、そして“運動が好き”という気持ちを育てたい — その思いから、ワクワクしながら体系的に身体を動かせるプログラムとして「忍者修行」を始めました。

忍者修行では、多様な基本動作を、遊びのストーリー性の中で自然に体験できるよう工夫しています。子ども自身の意欲や挑戦心が引き出されるよう、主体的に動きたくなる環境づくりを大切にしています。

### 田んぼの活動

神社の杜の中にある本園の環境をいかし、稲作を通して、古くからの農耕儀礼に由来する季節の行事や文化に触れられるよう取り組んでいます。

子どもたちが田んぼと身近に関わり、観察し、変化に気づき、自然の不思議さを探求できることを大切にしています。稲穂が風に揺れる音、季節ごとに変わる田んぼの匂い、土や水の感触など、五感を使って体験することで、感性や気づく力が豊かに育まれます。

どろんこになりながら自分の手で田植えをし、日々の観察や水管理などの世話を続ける中で、子どもたちは「主食のお米がどのように育つのか」「どれほどの時間と手間がかかるのか」を実感をもって学び、食への関心も広がっていきます。

今後も、子どもが主体的に稲作に関わり、自然の不思議に気づき、自ら探求していけるような環境づくりに力を注いでいきたいと考えています。

### 英語(異文化)教育

今年度より英語教育の取り組みを開始し、教育内容の充実を図っています。





## 問いについて

保育を向上させるため、私たちはその時々課題を明確にし、重点目標を設定しています。今年度の重点目標は『深い学びを支える環境構成と教師の援助を考える』であり、教職員一人ひとりが意識を高め、資質向上に努めています。この目標に基づき、協議を重ねる中で見えてきた現時点の課題を『問い』としてまとめました。

「問い」が導き出された背景をご一読いただき、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。

## 付箋の書き方

ご覧いただきたい視点は、『問い』として、この冊子と保育室外・園庭に掲示しています。

- 問いで示した視点から保育をご覧いただき、付箋に記入してください。
- 付箋は、1枚につき、ご意見やアドバイスを1つご記入ください。
- 黒の水性サインペンをご利用ください。
- 付箋を3色用意しました。

ピンク・・・共感したこと・よかったこと

水色・・・疑問・気になったこと、アドバイス

黄緑・・・その他、感じたこと

## 〈問いボード〉

学年ごとに保育室外・園庭（職員室窓）に掲示してあります。記入した付箋をボードに貼ってください。



## 本日のスケジュール

| 時間          | 内容                                                                                                                                                                                     | 場所                                                                                  |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 9:00~9:05   | 受付                                                                                                                                                                                     | 参集殿ホール                                                                              |
| 9:10~9:25   | オリエンテーション                                                                                                                                                                              | 参集殿ホール                                                                              |
| 9:30~12:00  | 公開保育 【午前保育の1日】<br>8:00~9:00 早朝保育<br>8:50~9:00 徒歩通園児登園<br>8:15~9:50 バス通園児順次登園<br>遊び<br>10:00~10:50 クラスみんなの時間<br>11:00~13:00 バス通園児順次降園<br>遊び<br>11:35・12:00 徒歩通園児降園<br>12:00~18:15 預かり保育 | 園庭・遊樂園・第2運動場<br>フリールーム(満3②)<br>1号館1階(年少)<br>1号館2階(年長)<br>2号館1階(年中・満3①)<br>2号館2階(年中) |
| 12:00~13:30 | 昼食・休憩                                                                                                                                                                                  | 参集殿ホール                                                                              |
| 13:30~15:00 | 分科会                                                                                                                                                                                    | 満3歳⇒ことり組(1号館1階)<br>年少⇒ひよこ組(1号館1階)<br>年中⇒にじ組(1号館2階)<br>年長⇒つき組(1号館2階)                 |
| 15:00~15:15 | 休憩                                                                                                                                                                                     |                                                                                     |
| 15:15~16:15 | 全体会                                                                                                                                                                                    | 参集殿ホール                                                                              |
|             | 閉会                                                                                                                                                                                     |                                                                                     |



## 満3児クラス(こぐま組①②)

ねがい

保育者の手立て

好きな遊びを見つけ、安心して過ごして遊ぶ姿が見られるようになりました。

戸外では兄妹での繋がりを軸に上の学年と関わって遊んでいます。

室内では、おままごと・ブロック・電車・ぬりえなどを用意しています。

思い思いに自分の遊びを楽しめるよう保育者も一緒に遊びに入り、子ども同士の言葉のやりとりや関わりが持てるように援助していますが、おもちゃが散らばってしまい落ち着かない様子がみられ、遊びを持続させることが難しい状況です。

### 【問い1】

子どもたちが落ち着いて遊ぶために工夫できることはどんなことがありますか。  
配置・おもちゃの種類などでお気づきのことがありましたら教えてください。

### 【問い2】

異年齢との関わりを深めるための声掛けはできていましたか。





## 年少組（ことり・ひよこ・つばめ・ひばり）

ねがい

保育者の手立て

友だちの影響で新たな遊びや活動に興味を示していますが、自分から友だちに思いを伝えられず保育者を通してかかわりを持ったり、自分の思いを言葉や行動に出せないでいたりしています。また、同じ空間で遊んでいる相手の言葉に耳を傾けることが難しい姿もみられます。

お友だちとの言葉でのやりとりが広がるように、子どもの思いを汲みとりながら代弁することで、相手に自分の思いが受け止めてもらえる気持ちよさを経験できるように援助しています。

### 【問い1】

本日の保育をご覧になって、子どもたちの言葉でのやり取りが広がっていた（広がりそうな）場面での保育者のかかわりはいかがだったでしょうか。

### 【問い2】

友だちに対して自分の思いを、言葉で伝えたり行動に移したり、やり取りが広がるように、あなたの園ではどのようにしていますか？





## 年中組（もも・すみれ・きく）

ねがい

保育者の手立て

虫や動植物に、最近はより意欲的に関わる姿が見られています。馬の表情や仕草から気持ちを読み取ろうとし、感じたことを友だちと伝え合う様子も見られます。

自ら『もっと知りたい』と感じながら関われるように、触れ合いの時間を設け、身近に動植物を置くなどして関心が広がるよう環境を工夫しています。

2学期になり友だちとの関わりでは同じイメージを共有しながら、制作・ごっこ遊びや集団遊びを楽しむ姿がみられるようになっていきます。

保育者は、子どもたちが互いに理解し合えるよう意識しながら子どもたちの思いを受け止めつつ、気持ちを認め合えるように援助しています。

また制作物を遊びの中に取り入れ、友だちとかかわりながら継続的に遊びを発展させて欲しいと願っています。

### 【問い1】

自然物や動植物に興味をもって探求していけるよう、あなただったらどのような環境設定やどのようなことをしますか？戸外と室内を繋げる環境設定も教えてください

### 【問い2】

子どもたちが主体的に遊びや話し合いを進めていけるよう、もっとこうしたらいいと思うことは何ですか？

### 【問い3】

制作が深まる素材や廃材、用具にどんなものがありますか？また、そのために必要な工夫がありましたら教えてください。





## 年長組（つき・ゆき・にじ・ほし）

ねがい

保育者の手立て

自信がついてきてさらに難しいことに挑戦する子もいれば、できることをひたすら行う子、失敗を嫌がる子がいます。保育者は じっくりと遊びを考え継続できるように子どもたちが興味を持ったことをクラス全体で共有し、上手くできたことだけではなく努力していることを認めるようにしています。

また、作ったものを保管できる環境、作りたい思いが実現しやすい材料を整えています。すると話し合う機会が増え自分の思いを主張できるようになる一方で、自分本位に進めようとする姿がみられています。保育者は、協働するからこそその楽しさも感じてもらいたいので、対話を大切にしながら保育をすすめています。

### 【問い1】

子ども自ら興味を持ち、そのことについて挑戦、探求心を育むために考えられる保育環境や援助を教えてください。

### 【問い2】

相手の思いを受け入れながら遊びを進められるようになるためにあなたの園ではどのような援助や工夫をしていますか？

### 【問い3】

継続した遊びとなるような環境設定や工夫を教えてください。また、遊びを広げるために使える素材などがあれば教えてください。

